Tsuyama Co	ollege Year 2018					Course Title	長期イ	ンターンシップ	
Course Information	on				I				
	0030			Course Cate	aorv	gory Specialized / Elective			
Class Format	Practical trai	ning		Credits					
Department	Advanced Electronics and Information System Engineering Course			Student Gra	de Adv. 2nd		d		
erm	Intensive			Classes per	Week				
extbook and/or eaching Materials	実習先で配布される資料等								
nstructor	NOMURA Kensaku								
Course Objectives	5								
子質の	週間程度, 14 学習や研究など ごいる責任と独 目己の役割を理 ーションができ	10 時間程度) の協働活動を。 創性を認識でる 解するととも(	を選択科目(2 単 とおして,専門的な きる こ他者に適切に働か	位)として,上ii 視	),研究服 )時間では 己の短期材	が別の可止で は習得できた 外実習と通	で日拍り い項目か 選択できる	とである。専攻科では特別 が多くあると考えられ,長期 いようにした。	
<sub>3 正案冶動を通じて,巨</sub> Rubric	1507 P	<i>J 91 71</i> . Ca	こる						
<u>(ubi ic</u>	優		良		可			不可	
評価項目1	専門的視報告書と	点から実習内を 発表で説明では 容を十分に理解	容を 専門的視点 報告書と発	から実習内容を 表で説明でき を理解してもら	実習内容を報告書と発表で説明できる。		と発表で	左記に達していない。	
平価項目2	企業の社任と独創	会に負ってい 性を理解し, <sup>-</sup> ることができ	る責 企業の社会 十分 任と独創性	企業の社会に負っている責任と独創性を理解し,説明することができる。		企業の社会に対する責任を 示すことができる。		左記に達していない。	
評価項目3	実習を通 を理解し コミュニ 等) がで	して,自己の行 て,他者と十分 ケーション( きる。	役割 実習を通し 分な を理解して 発表 ニケーショ きる。	ニケーション(発表等)で		実習を通して, 他者とコミュニケーション(発表等 ) できる。		左記に達していない。	
平価項目4	キャリア	を生かし, 自りを計画的に考り 説明できる。	え  キャリアを	キャリアを計画的に考え  キ		企業経験を生かし, 自らの キャリアについて説明でき る。		左記に達していない。	
Assigned Departn	nent Objec	tives							
Teaching Method		<u> </u>							
Ī	一般・専門の別:専門 学習の分野:実験・実習 基礎となる学問分野 : 工学/機械・電気電子・電子制御・情報工学 専攻科学習目標との関連:本科目は専攻科学習目標「(6)校外実習, 先端技術特別講義や学協会への参加を通じて, 地域 社会との連携を図るとともに, 球的視点からものを見ることの大切さを理解する。」に相当する科目である。								
Outline	技術者教育プログラムとの関連:本科目の学習・教育到達目標は主として「(H)地域社会との連携による総合能力の展開,H-1:地域社会との連携した学習や研究などの協働活動をとおして,専門分野を理解し(もしくは専門的観点から生産システムを理解し),説明できること」であるが、付随的に「F-1」、「A-2」、「D-3」および「G-1」にも関与する。  授業の概要:企業等学外機関において実質4週間程度もしくは140時間程度の実習を行う。								
	授業の方法:企業等において実際の業務に携わり、実習を行う。学内で実習終了後に審査会を実施する。								
ityle				•		ァヾマシ <del>ェ</del> ヘ 〃	2.00/\-		
Style	成績評価方法	: 企業からの記	平価シート(60%	· ), 報告書(20		び発表会 (	20%)で		
Style	成績評価方法履修上の注意	<u>: 企業からの記</u> : 実習に行く随		·),報告書(20 加入すること。	%) およ			評価する。	

Course	Plan						
			Theme	Goals			
1st Semeste r	1st Quarter	1st	● ガイダンス(学年初め) ● 研修企業の決定 ● 担当教員・企業担当者との実習内容の確認 ● 報告会の準備(夏季休業終了後) ● 実習内容の報告および審査				
		2nd	企業等における実習 4 週間程度, 140 時間程度実習に参加すること。				
		3rd					
		4th					
		5th					
		6th					
		7th					
		8th					

		9th						
	2nd Quarter	10th						
		11th						
		12th						
		13th						
		14th						
		15th						
	3rd	16th						
		1st						
		2nd						
		3rd						
		4th						
	3rd Quarter	5th						
		6th						
		7th						
2nd Semeste		8th						
r		9th						
		10th						
	4th Quarter	11th						
		12th						
		13th						
		14th						
		15th						
		16th						
Evaluation Method and Weight (%)								
試験		験	発表	報告書	課題	ポートフォリオ	その他	Total
Subtotal 60			20	20	0	0	0	100
基礎的能力 (			0	0	0	0	0	0
専門的能力			10	10	0	0	0	60
分野横断的能力			10	10	0	0	0	40